



Corporate Vision 2011

2010年12月期決算報告

GMOインターネット株式会社 証券コード:9449

業績の詳細は当社WEBサイトをご覧ください。



GMOインターネット

検索

<http://ir.gmo.jp/>

NEWS HEADLINE

そのための環境が、ゲーム配信専門のAndroid端末向けアプリマーケット「@GMOゲームセンター(Gゲー)」。プレイに必要な専用アプリのダウンロードを介して、独自のDRM(デジタル著作権管理)システムを構成しつつ、高度な機能を



**史上最大のゲームプラットフォーム
Android端末を舞台にした新プロジェクト
「アンドロイドやるうぜーbyGMO」**

GMOインターネットは昨年11月、(株)アクロディアとの協業プロジェクトとして、アプリやるうぜー第2弾「アンドロイドやるうぜーbyGMO」を始動させた。スマートフォン(アンドロイド)端末の急成長を担うAndroid(アンドロイド)端末のアプリマーケットを舞台に、才能あるクリエイター&エンジニアが活躍する機会を創出し、アプリ開発を支援する。

世界中のAndroid端末にゲーム配信

Android端末の世界販売シェアは、昨年iPhoneを超え、2014年には販売台数2億5千万台の突破が予想されている。「アンドロイドやるうぜーbyGMO」は、この史上最大のゲームプラットフォームでのアプリ開発を促進。開発側の懸念である違法コピーや配信キャンセルへの対策、ユーザービリティの徹底追求で新市場を構築していく。

株主総会決議を経て完全子会社化へ

GMOインターネットは、昨年10月にクリック証券(株)の株式の36.9%を取得し、連結子会社化。そして今年3月25日、株主総会決議における承認を得て、株式交換による完全子会社化を果たした。これを受け、4月1日より同社名を「GMOクリック証券(株)」に変更する。

クリック証券株式取得の概要

2010年10月29日
36.9% (52.7億円) 取得完了

2011年4月1日より新社名「GMOクリック証券株式会社」

2011年3月25日
株主総会決議により100%株式交換完了

2010年度第4四半期より連結対象

2011年度第2四半期より完全子会社化

同社を新たに傘下に置いたGMOインターネットは、インターネット証券事業への参入により、個人向けサービス分野の強化を図っていく。また、ECショップポイント「GMOとくとくポイント」とも連携し、グループの企業価値をさらに高めていく考えだ。

GMOインターネット証券(株)現在では、業界最安値水準の手数料を武器に、FX(外国為替証拠金)取引高市場シェア1位のネット証券として躍進している。

クリック証券のグループ化による インターネット証券事業の開始

供給する仕組みだ。「Gゲー」に参加する開発陣には、開発・移植ツールや技術サポートを提供し、ゲーム作品を世界配信する。

アンドロイドやるうぜー 検索
<http://android-yarouse.com/>

年内に100万IDの獲得を目指す

同プロジェクトでは、ゲームアプリコンテストの開催を通じて、優れた作品を続々「Gゲー」に投入しており、この3月には100タイトルを突破する勢いだ。「Gゲー」ID数も昨年11月のβ版スタートから急カーブでの上昇が続き、年内には100万IDの獲得を目指すという。

国内3キャリアと連携予定の「Gゲー」は、今春以降にSNSゲーム用APIを提供し、ソ

One More Info

「GMOアプリクラウド」

活発化するアプリ制作支援の裏側で、「GMOアプリクラウド」の存在が注目されている。GMOインターネットによる開発・運営会社向けのサーバー提供サービスだ。サーバーの調達はソーシャルアプリの公開における最大の課題。公開直後の大きなトラフィックやその後の増減に対する柔軟・迅速な対応、良好な回線品質と十分なスペック、そして初期投資リスクの回避が求められる。

「GMOアプリクラウド」はこうしたニーズに対応し、アプリ運営者をインフラ面で最大限に支援。42万社以上の導入社数を誇るレンタルサーバーの構築・運用ノウハウと、アプリ制作支援事業の経験を生かし、業界内で採用を拡大させている。



2010年11月1日に開催されたカンファレンス

シャルサービスを開始。いよいよ各国キャリアとの連携による国際展開も始まる。すべての人が、クオリティの高いゲームを手のひらで楽しめる時代。その大きな拡がりを先取りする「Gゲー」の躍進に注目したい。

期初計画を上回る
増収増益を達成

当期の連結業績は、WEBインフラ・EC事業およびインターネットメディア事業の好調に加え、第4四半期から新たにクリック証券(株)が連結対象となったことも寄与し、売上高・利益ともに期初計画を上回る成果となりました。

こうした既存分野の好調を維持しつつ、当社グループは、「日本を代表する総合インターネットグループへ」という目標の実現に向けて、新たな成長分野への投資を積極化させてまいりました。

5大テーマによる
成長戦略を推進中

具体的には、現在「ソーシャルアプリ」「スマートフォン向けアプリ」「共同購入型クーポン」「EC集客支援」「新ドメイン申請」の5大テーマによる成長戦略を推進しています。

昨年2月に開始したソーシャルアプリ開発支援プロジェクトは、複数のヒットタイトルを生み出し、今年2月には月次売上(グロス)1億円を達成

するなど、すでに収益貢献フェーズに入りました。

Android端末用ゲームプラットフォーム「Gゲー」によるスマートフォン向けアプリは、今後見込まれるAndroid端末の爆発的な普及をターゲットとする重点分野です。開発支援プロジェクト「アンドロイドやろっぜ! by GMO」が輩出する優れたアプリを、「Gゲー」から全世界に配信していきます。

共同購入型クーポンについては、昨年11月に専門サイト「くまポン by GMO」をオープンしました。ソーシャルメディアの拡がりとともに社会に定着するサービスとして、今後の普及が期待できます。

「GMOとくとくポイント」によるEC集客支援の強化は、継続的な取り組みテーマです。現在、1万7千店舗での利用が可能となっており、さらなる普及を目指す



「日本を代表する
総合インターネットグループへ」
その実現に向けて、
新たな挑戦を開始しました。

代表取締役会長 兼 社長
グループ代表



ています。
そして、当社グループの中長期的な成長を見据えドメイン事業については、新ドメイン「shop」をいよいよ年内に申請予定です。これにより、インフラ商材の販路が全世界に拡大していきます。
以上の5つの成長分野を、将来における事業の柱に育てつつ、既存事業のクロスセルとのシナジーを創出していくことが重要であると考えています。

5大テーマによる
成長戦略



株主の皆様への
タイムリーな利益還元

次期(2011年12月期)は、引き続きEC市場の成長を背景に、既存事業のさらなる収益力強化を果たしながら、ここに述べました新分野へのチャレンジを推進してまいります。
連結業績については、売上高570億円、営業利益70億円、経常利益68億円、当期純利益24億円を見込んでいます。

なお、当社の事業運営の成果を株主の皆様へよりタイムリーに還元すべく、次期より四半期配当制度を導入いたします。これにより、次期配当金につきましては、1株当たり2円の配当を年4回実施し、同80円の年間配当額とさせていただきます。さらに株主優待制度についても今回から内容を拡充しております。詳細は本紙最終面をご参照ください。

株主の皆様におかれましては、No.1サービスの集合体としてインターネットの発展に貢献していく当社グループの将来にご期待いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ダイジェスト

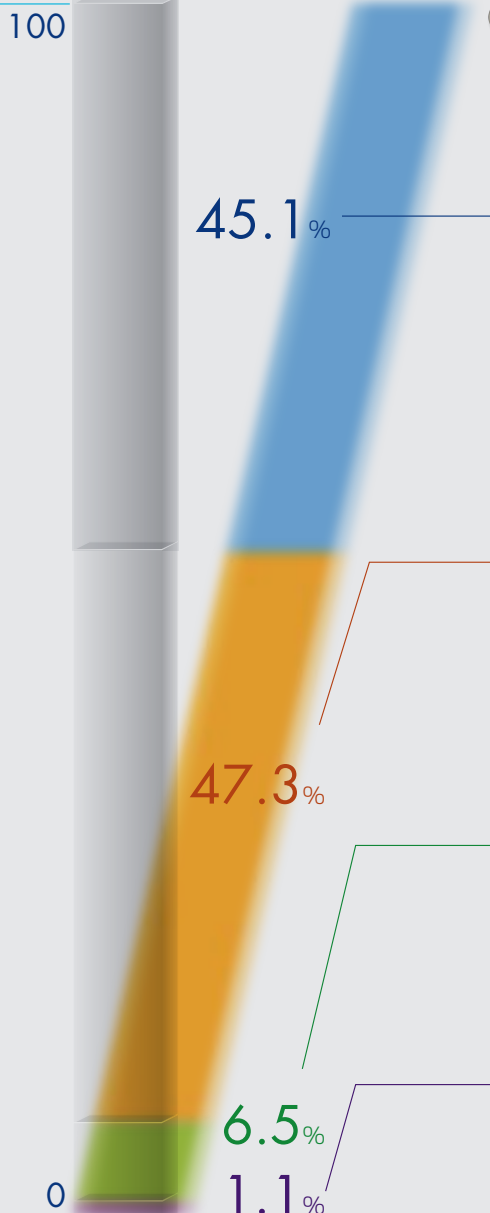
	売上高	営業利益
当期 (2010年12月期)	 44,483 百万円 (前期比 16.5%増)	 5,728 百万円 (前期比 23.2%増)
来期予想 (2011年12月期)	 57,000 百万円 (前期比 28.1%増)	 7,000 百万円 (前期比 22.2%増)

- すべての事業セグメントにおいて増収を達成
- 営業利益および経常利益は過去最高を更新
- 第4四半期よりインターネット証券事業を開始

主要連結財務データ

	2006/12	2007/12	2008/12	2009/12	2010/12
売上高(百万円)	50,842	46,315	37,247	38,195	44,483
営業利益(百万円)	4,271	△ 8,922	4,143	4,649	5,728
経常利益(百万円)	3,992	△ 9,666	4,031	4,797	5,738
当期純利益(百万円)	△ 12,099	△ 17,598	2,111	1,354	2,209
1株当たり当期純利益(円)	△ 194.81	△ 231.72	21.01	13.49	22.09
総資産(百万円)	146,279	40,620	39,752	40,922	165,460
純資産(百万円)	19,528	12,057	13,367	14,145	21,396
1株当たり純資産(円)	156.79	48.41	67.26	70.47	85.37

売上高構成比率(%)



セグメント情報

WEBインフラ・EC事業の概況

売上高 **20,371** 百万円 (前期比 10.0%増)
 営業利益 **3,014** 百万円 (前期比 13.8%増)

損益の変動要因

アクセス事業を除くすべての事業で増収し、売上高200億円を突破。セキュリティ事業と決済事業が利益成長を牽引し、3期連続の増益となりました。

当期のポイント

- ドメインgTLD国内シェア58%、サーバーシェア34%で、インフラNo.1の座を維持
- ソーシャルアプリ向け「GMOアプリクラウド」が好発進し、サーバー事業の拡大に寄与
- EC支援事業のネットショップ契約件数は4万7千件を突破、Yahoo!ショッピングとも連携

インターネットメディア事業の概況

売上高 **21,335** 百万円 (前期比 5.0%増)
 営業利益 **1,900** 百万円 (前期比 8.0%減)

損益の変動要因

EC市場の拡大を背景にSEMメディアの好調が続き、8期連続で増収。ソーシャルアプリ事業の立ち上げに伴う費用発生により、減益となりました。

当期のポイント

- SEMメディアの販売が好調、JWordはYahoo!モバイルとのリンクも開始
- モバイル広告が好調、携帯サイト向けアドネットワーク型広告の開発会社を子会社化
- ソーシャルアプリ事業の立ち上げに2億円強を投資し、すでに収益貢献フェーズに移行

インターネット証券事業の概況

売上高 **2,918** 百万円
 営業利益 **740** 百万円
 (注)当第4四半期より新たなセグメントとしたため、前期比較はありません。

当期のポイント

- レバレッジ規制による影響は事前の想定内にとどまり、引き続き安定成長中
- 2010年のFX取引高シェアは19.5%でトップ、証券売買高シェアは5.6%

その他事業の概況

売上高 **497** 百万円 (前期は21百万円)
 営業利益 **22** 百万円 (前期は115百万円の損失)

当期のポイント

- 割引クーポン共同購入サイト「くまポンbyGMO」によるフラッシュマーケティング事業を開始
- ベンチャーキャピタル事業において営業投資有価証券の一部を売却し、収益計上

株主様向けインフォメーション

● 四半期配当制度導入のお知らせ

当社は、株主の皆様いち早く経営成果を還元すべく、四半期配当制度の導入を決定し、2011年3月25日開催の第20期定時株主総会のご承認により決議いたしました。第21期(2011年12月期)第1四半期から本制度に基づく配当を実施させていただく予定です。

四半期配当の概要

① 基準日

当社の各四半期配当の基準日は次のとおりです。
 第1四半期：3月31日 第2四半期：6月30日
 第3四半期：9月30日 第4四半期：12月31日

② 権利者

基準日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者となります。

2011年12月期の配当予想

1株当たり配当金					配当性向 (連結)
第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計	
2円00銭	2円00銭	2円00銭	2円00銭	8円00銭	33.3%

● 株主優待制度の拡充について

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社への投資に対する魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様を増加促進することを目的に株主優待制度を従来の「GMOとくとくポイント」贈呈に加え、クリック証券株式会社にて当社の株式を買付けた場合の買付手数料を無料とさせていただきます。

さらにクリック証券における株式やオプション、為替取引の各種取引手数料の5,000円割引やGMOインターネットグループの提供するサーバーやドメイン等のサービス利用料5,000円割引を優待制度の対象といたします。

実施時期および実施対象者

当社の株主優待制度は毎年2回、6月30日・12月31日現在の株主名簿に記載された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象に実施しております。この度の内容拡充は、2010年12月31日現在の株主名簿に記載された、1単元以上保有の株主様を対象とする株主優待(本冊子に優待IDを同封)より適用いたします。

実施内容の比較

(拡充実施前)2010年12月期第2四半期までの優待内容です。

株主優待商品	優待内容	方法
GMOとくとくポイント	2,000ポイント	ポイント贈呈

(拡充実施後)下記①～④の内容すべてを併用いただけます。

株主優待商品	優待内容	方法
① GMOとくとくポイント	2,000ポイント	ポイント贈呈
② クリック証券におけるGMOインターネット株式買付に係る買付手数料 対象期間：平成23年1月1日～同年9月30日	対象期間中の買付手数料相当額	GMOとくとくポイントもしくはキャッシュバックのいずれかの方法
③ クリック証券における売買手数料 対象期間：平成23年1月1日～同年9月30日 対象取引：現物取引、信用取引、夜間取引、先物・オプション取引、FXネオ取引、クリック365取引、eワラント取引に係る手数料等	5,000円を上限に対象期間に生じた取引手数料相当額	GMOとくとくポイントもしくはキャッシュバックのいずれかの方法
④ GMOインターネットグループが提供する各種サービスのご利用 対象期間：平成23年4月1日～同年9月30日 対象サービス：[ネット接続]GMOとくとくBB、interQMEMBERS、ZERO、BEKKOAME//INTERNET [ドメイン取得]お名前.com [サーバー貸出]お名前.com、レンサバ.com、まるごとサーバー、iSLE、RapidSite、ロリポップ! [ショップ開設]カラーミーショップ、Make Shop [電子認証]電子認証サービス各種 [オリジナルグッズ販売]クマガイ☆スタイルSHOP等	5,000円を上限に対象期間に生じた利用料相当額	GMOとくとくポイント、月々の請求より値引き、キャッシュバックのいずれかの方法

※いずれも、GMOとくとくポイントはお買い物限定のポイントとなります。(1ポイント=1円相当)

ご利用いただけるサービスその他詳細につきましては、同封の「株主優待のご案内」に記載の内容をご覧ください。

当社は今後とも、株主の皆様に対する利益還元および各種施策の充実に努め、事業成長による企業価値拡大と同時に、投資銘柄としての魅力をより向上させてまいります。

*クリック証券株式会社は平成23年4月1日をもって、商号をGMOクリック証券株式会社に変更いたします。

株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

基準日	期末配当	12月31日
	第1四半期末配当	3月31日
	第2四半期末配当	6月30日
	第3四半期末配当	9月30日

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL:0120-232-7111(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.gmo.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取請求 ・住所・氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-7111(通話料無料)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人 手続き書類のご請求方法 ● 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479(通話料無料) ● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-7111(通話料無料)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。